

JR九州は安全対策やる気なし

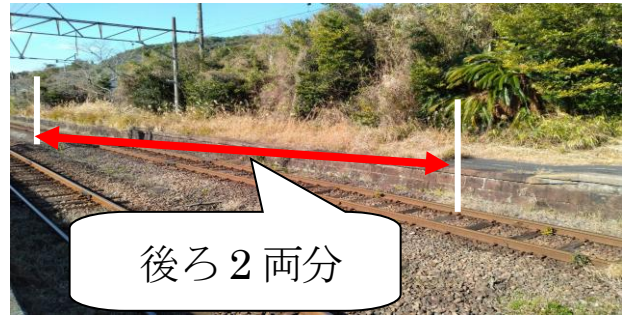
2月26日、鹿児島本線 湯之元駅下りホームで4両編成の車両が停止位置を誤り、2両停目に停止シドア扱いをした「停止位置誤り」事故が発生しました。

今回は、2両停目に4両編成が停止しても、車両がホーム内にかかるホームで、お客様にはご迷惑を多少掛けますが、乗降に影響のないホームです。

しかしながら、右の写真からも分かるように、

2両目以降の車両は雑草で乗降が出来ない

危険なホームになっています。



ユニオンは1月29日申4「4両7人乗りの事故防止対策に対する申し入れ」で、2月9日交

渉をしてきました。

- 内容
- 1. 本部・本社間の協議で、ホーム改善を3年で行うとしているが、3年の根拠を明らかにされたい
 - 2. 支社内におけるホーム改善の進捗状況を明らかにされたい。
 - 3. 広木駅鉄道人身傷害事故の対策として、広木駅の上りホーム停目を全両停目としたが、4両7人乗りで2両停目に停車した場合、転落の危険性があるホームは支社内において42カ所存在する4両停目の統一化を早急にされたい。
 - 4. GPSを使用した「知らせる君」のホーム収容検知機能では、安全は確保できない。他の安瀬装置に改善されたい。

5. ホーム上雑草で使用できない駅がある。早急な伐採を実施されたい。

会社回答

- 1. 調査・精査を行った上で実施に3年かかるというものである。2~4. 現在、精査中である。

5. 管理箇所へ連絡を行った。 ☞ ホームとして使用する以上、早急に伐採する事が当たり前！！まったくやる気ない！！

まったく安全対策をやる気なしの、

会社姿勢に強く抗議する！！